

～昨日の風 明日の風～
**経営コンサルタント
 独白録**

[第129回] 狭い地域の、狭い業界の……



戸敷 進一

1956年生まれ、宮崎県出身の経営コンサルタントで、株経営改善支援センター(福岡市、URL: <https://sien.co.jp/>)代表取締役。業種を問わない「組織活性化」の専門家で、全国300社以上の企業の活性化を指導。全国の商工会議所や企業などからの依頼で講演活動もおこなう。明確で分かりやすい表現で驚くほど短期間で「組織」を変えるのが強み。また、帝国データバンクの契約コンサルタントとして九州各地の企業を中心に多くの実績を上げている。

人材の育成に関して私の最近の口癖は「狭い地域の、狭い業界の、狭い人間関係からはマネジメント力(経営力)を持った人間は育ち辛い」というものです。同時に「業務を極めるだけでは人材は育たない」とも言い切っています。

その理由は、社会や経営環境の変化が余りにも早く激しいのでマネジメントに必要な要素が先鋭化し、かなりの覚悟や準備がなければ迂闊に触れられなくなったからです。ITやAIなどの発達だけではなく、緊張する国際環境、自由主義や資本主義の行き詰まり、まったく新しい歴史の分岐点に立っている自覚が無ければ人生や組織運営に関して手が打てないのです。例えば現在(2024年4月)地球の上空にある人工衛星の数は9000基を超え、年間2000基規模で増えていることを頭の片隅にでも知っておかないと次の時代の風景は思い描けないかもしれません。

出会えない人と出会う

人生のひとつの機微は「誰と出会うか」ということです。親兄弟姉妹という避けられない繋がり以外に、いつどこで誰と出会ったかが人生の岐路を決めてしまうこともあります。教師、友人、先輩後輩、師匠、上司、同僚、配偶者、子供……。こうした目には見えない偶然と必然によって人の人生は決定されていきます。

経営もまたどのような経営者の下にどのような人材がいるかによって未来が左右されます。これもまた偶然と必然が絡み合いますが、組織運営については「育成」という行為により必然とすることが出来ます。つまり意識しなければ出会えない人と出会わせることにより個人の意識や行動を変化させることが可能となります。

異なる地域と異業種から学ぶ

弊社主催の【みらい塾】は、未来の専務・常務を創る経営幹部育成の場所です。すでに4期目を迎えています。参加者の年齢は23歳から51歳と世代の幅は広く、業種も建設・運輸・製造・販売・サービス・農業など異業種の組合せです。参加者の所属する地域も首都圏、中部、関西、中国と九州各地から様々です。本来会えるはずのない地域と世代の人たちの集まりです。主催者としての狙

いは、こうした異業種、他地域の人達と出会うことにより「意識の拡大」を図ってもらいたいのです。都市部で生きる凄まじい競争と自己研鑽の姿に対して、地方における顧客との密着性やインフラについての閉塞感など、各々の立場で自分や所属する組織の立ち位置を十分に理解してもらうことが最大の目的地です。

講師の方々も首都圏や中部から来て頂き、より深く時代変化や物事の本質について伝授して頂いております。これもまた普段の業務の中では絶対に出会えない方々で、参加者に強い影響や印象を与えています。

鉄は熱いうちに打て!

人間の成長は年齢に関わりはありません。当人が何かを意識した時が成長開始の瞬間です。しかしながら、比較的若いうちにそうした変化するきっかけを持つ事はこれもまた人生の中で重要なことかもしれません。手前味噌な言い方で恐縮ですが、年齢の異なる弊社のコンサルスタッフは私と出会った時の年齢が偶然にも27歳でした。今から20年前、17年前、13年前の節々で再会し、その後の不思議な縁で現在共に働いています。そのことを会社の懇親会で知った時、「何物かを知り、何物かを伝えた不思議な瞬間」がそれぞれの人生にはあるのではないかと考えました。自分の27歳の時のいいかげんさと愚かさを思い起こせば、こうした出会いの大切さを感じないわけにはいきません。

新しい時代の新しい人材

ある日、博多駅のコンコースを歩いている時に、不意に古い古いフォークソングの一節が浮かびました。

～♪ 古い船には新しい水夫が乗り込んでいくだろう 古い船を今動かせるのは古い水夫じゃないだろう なぜなら古い船も新しい船のように新しい海に出る 古い水夫は知っているのさ 新しい海の怖さを ～ (イメージの詩より)

今から50年以上前の歌詞です。さて、御社の「新しい水夫たち」をどのように育てますか。ベテランに課せられた課題は小さくはありません。